



◆どこに避難

したらいいの？

災害が起きた時の避難場所を知っていますか。平時から、避難場所や避難場所までの経路に危険な場所がないか確認しましょう。

また、家にいるとき、職場や学校にいるときに被災した場合の避難場所も確認しましょう。

「ハザードマップが便利です」

町では、災害が発生したときの避難場所や日ごろの備えに役立つよう「防災ガイド&マップ」「津波ハ

非常持ち出し品・備蓄品を備えよう

災害が起こったら、水道や電気・ガスといったライフラインが使えなくなったり、食料や薬などが簡単に手に入らなくなったりします。

被災したら何が必要か、乳幼児、妊婦、高齢者、ペットなど家族構成によって備えるものはさまざまです。想像して優先順位をつけて準備しましょう。

チェックリスト

非常持ち出し品（例）

- ☐ 飲料水・非常食 ☐ 預金通帳・印鑑・現金
- ☐ 救急セット ☐ ヘルメット ☐ 軍手
- ☐ 懐中電灯 ☐ 衣類・タオル
- ☐ 携帯ラジオ・予備電池 ☐ マッチ・ろうそく

非常備蓄品（例）

- ☐ 飲料水（1人あたり3リットル×3日分）
- ☐ ご飯（アルファ米）
- ☐ 缶詰・レトルト品・チョコレートなど
- ☐ 下着・衣類
- ☐ 携帯トイレ
- ☐ トイレットペーパー

◆災害の情報収集に

備えよう

「ハザードマップ」を作成し、各戸に配布しています。また、町のホームページからもダウンロードすることができます。

自分の命を守るためには、いち早く最新の状況や避難情報を知ることが大切です。

- ・テレビ・ラジオ
- ・大山町ホームページ
- ・防災行政無線

ぜひ、登録を！

「その他にも」

- ・鳥取県の防災情報「安心トリピーメール」
- ・Yahoo! 防災速報など

◆外に出るのが危険なら、

『垂直避難』を

雷をともなった猛烈な雨が降っている場合や、すでに道路の浸水が始まっている場合は、特に夜間では

「非常持ち出し品」は防災バッグなどにまとめておいて、避難するときにさつと持ち出すもの。
「非常備蓄品」は後から使うために家に備蓄しておくもの。



外に出て避難所へ移動することがかえって危険なこともあります。その場合は、家の2階以上に避難をお願いします。土砂災害危険地域では、山の斜面から離れた2階の部屋に移動することで、リスクを軽減することができます。

早めに避難所への避難が原則ですが、それが難しい場合には、「垂直避難」を心がけてください。

◆問い合わせ先 総務課

☎ 0859・54・5201